

キャラクター名  
シー

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ハヌマーン	ワークス	暗殺者	カヴァー	
オプション	ノイマン	年齢	13	性別	女
覚醒		衝動		初期侵食率	0 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	6
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC	6		交渉		
回避			知覚			意志			調達	5	
運転:	2		芸術:			知識:生存術	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	6r+6				18
	RC	7r+6				24
	RC	9r+6				36

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
妹たちの服とか欲しいモノ、娯楽	
生活費	
自分に使う分	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリタス消費
業師	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 18    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サイレン	4							
効果:	12 15 21							
虚構のナイフ	2							
効果:	6 9 15							
天性のひらめき	1							
効果:								
ファンアウト	1							
効果:								
マインドエンハンス	1							
効果:								
トランキリティ	3							
効果:	+4 d 5 7							
オーバードーズ	1							
効果:								
ケミカルスモッグ	★							
効果:								
元気の水	★							
効果:								
快樂の香気	★							
効果:								
麗しの容貌	★							
効果:								
蝙蝠の耳	★							
効果:								
風の支配者	★							
効果:								

元FH、現成瀬支部にて三つ子の姉妹と子ども保護下にある長女。無口、無表情、無愛想……3つ見事に揃ったクールビューティだが、姉としての責任感、たくましさは凄まじく、嵐と楓……二人の2人の妹に対しては時に厳しく、しかし優しく、手厚く面倒を見てきた。三つ子の絆は強く、自らも2人から溺愛されているが、2人のためならいくらでも自分を犠牲にしようとする、少し危なっかしい面もある。

孤児として上海の路地裏を流浪、なんとか生きていたが、10、11になろうかという冬、いよいよ命の危険に晒された三人。いつからか、三人はオーヴァードとして覚醒しており、式だけが力を使えることに気づいていたが、危険な力であると見抜いていた彼女は、自ら使うことで2人を覚醒することのないよう、衝動:覚醒の中ひたすら抑えていた。

ちょうど年頃になりかけていたシーに、ノイマンの頭脳が否応なしに最適解……『趣味の男たちへ身体を売って身銭を稼ぐ』。命の危険もない……自分一人が犠牲になるだけで、二人を救うどころか、『頑張り次第』でいくらでも幸せにしてあげられる……「力」を使わないなら、それが一番。現に、どこかではそういうことが行われているのだ……。わかっていて、ノイマンの思考は、『毎日どこを回って、どれくらいの人数を相手に、どういう風なことをすれば、どれくらい溜まるか』。……そうするしかない。それが一番……わかっていただけれど……それは、いくら強い心の持ち主とはいえ、11歳の少女にとって、あまりに苦しく、辛い決断だった。勇気と覚悟がつかないまま、式はそれでも、路地裏を通った男の手を、臆臆としながら握んだ。「私を、買いませんか」。そう言ったはずなのに、言えていなかった。そして皮肉にも……彼はFHのセルリーダーであり、事情を即座に察した彼に三つ子は連れられ、保護。結局、力は覚醒し、FHチルドレンとして過酷な任務に従事しながらも、親代わりとして、お互い慕いあう暮らしはそれなりに幸せなものであった。

が、その時間も短く……男は死んだ。たった半年程度の、短い時間だった。

混乱し、泣き止まない二人を、式は自身も辛い中厳しく叱咤し、纏め上げ、オーヴァードとして、ふたたび3人で生きていくことを誓う。

そして、12の誕生日が近づく頃……三つ子は「男」を殺した相手を暗殺。

その後、彼女らは3人で一人のオーヴァードとして、裏社会……主にFHマーセナリーとして、暮らしていく

しかし……シャフトに利用され、ugnの捕虜となった3人。今度は必ず、この身のスペテを捧げてでも妹たちを守ると誓い、思いの丈を込める式に、ついでいこうとする2人……彼女らの想像したものとはまるで別もの……随分と手厚い保護を受けた3人……まだ混乱しているが、二人が無事と言うことだけでこれ以上嬉しいことはない。しばらく……いや、ずっとここで過ごすかもしれない。どうするか、と考え始めた式に、管理担当として現れた女性に優しく世話を焼かれ、本当に感謝すると同時、一人のチルドレンの男の子……と……と、年は多少上の彼と出会う。監視兼護衛役としてつけられた彼に、特別何か思うでもない式だったが、その後ジャーム襲撃時に危ないところを救われたり、少しずつ話したりしながら、お互いの共通点などもあり、心を開いていく。そうして、お互い、初めての

